

新商品の開発を目指して～6次産業化支援チーム会～



アドバイザーを交えた打合せ

5月12日に（株）雲の上ガーデン2人を対象に6次産業化支援チーム会を開催しました。チーム会では、新商品開発についてアドバイザーを交えて検討しました。

（株）雲の上ガーデンは「お土産に持って帰り誰かにプレゼントする商品」を作りたいとして、チーム会ではピクルスを使った商品開発についてスケジュール等が検討されました。

農業改良普及課では、保存試験、ラベルデザイン検討、賞味会の開催などを通して対象の6次産業化を支援していきます。

一番茶の摘採が始まりました



摘採作業の様子

4月18日より津野山地域で一番茶の摘採作業が始まりました。平成28年の一番茶摘採ピークは4/29～5/1で、茶工場の初日生葉受込量は1,375kg、価格は8,500円～4,710円と県内茶産地の中で最高値で取引され、茶商の評価も上々でした。JAは「茶工場施設の改修により荒茶加工品質が向上したのではないかと分析しています。また、生産者からは「今年は雨が多く、摘採が遅れたが、みる芽の伸びがいい」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、害虫の防除適期及び天敵に影響の少ない農薬の使用についてJAを通じて周知していきます。

JA津野山ミョウガ部会総会開催



ミョウガ総会の様子

4月20日、JA津野山営農センター輝において、JA津野山ミョウガ部会総会が開催され、17名が参加しました。

農業改良普及課は、JA津野山園芸部におけるGAPの取り組みや環境測定機器等の導入に係る高知県環境制御技術普及推進事業について説明しました。その後、環境測定機器等を導入したい部会員が3名いることが分かりました。

今後、環境測定機器等を将来導入したい生産者に対して、JAと協力し、環境測定機器等の勉強会を行い、ミョウガの収量・品質向上に取り組んでいきます。

須崎市認定農業者連絡協議会総会が開催



総会開催の様子

5月13日、須崎市総合福祉センターにおいて須崎市認定農業者連絡協議会第14回総会が開催され、認定農業者20人が参加しました。

総会では、本年度の全国サミットへの参加方針など、平成29年度に高知県で開催予定の全国担い手サミットに向けた対応準備を行うことが確認されました。

農業改良普及課も、これまでサミット対応への協力依頼と情報提供を行っており、今後も関係機関と連携しながら準備に取り組んでいきます。